

選択肢を引き継ぎ、次の世代に

第5回コウノトリ未来・国際かいぎを開催



秋篠宮殿下、眞子内親王殿下にもご臨席いただくなか、海外や全国各地から約1,700人が参加 ※2日間延べ

テーマは「未来へ」

コウノトリ野生復帰の現状を見つめ、今後の取組みについて考えるため、7月19・20日の2日間「第5回コウノトリ未来・国際かいぎ」を市民会館で開催しました。

第1回（平成6年）から20年を迎える今回は「未来へ」をテーマとしました。

《問合せ》コウノトリ共生課 ☎21-9017

◆開会式、経過報告、基調講演、野生復帰の今、総合討論(7月19日)



基調講演Ⅱ 「野生復帰のまへの期待」
内閣総理大臣夫人
安倍昭恵さん

Photo by SEBUN CREATIVE



基調講演Ⅰ 「野生復帰の検証『ひょうご豊岡モデル』をひも解く」
東京都市大学教授
コウノトリ野生復帰検証委員長
涌井史郎さん



経過報告 「コウノトリ野生復帰の目指すところ」
兵庫県立コウノトリの郷公園長
山岸哲さん



野生復帰の今 「朝鮮半島に再導入されるコウノトリの渡りを予測する」
韓国教員大学教授
パク・シリョンさん(韓国)



野生復帰の今 「野生復帰した日本のコウノトリ」
兵庫県立大学大学院研究科長
江崎保男さん



基調講演Ⅲ 「ヨーロッパコウノトリの再導入と保全」
ワイルドライフ・コンサルティング
ホルガー・シュルツさん(ドイツ)

なぜ、これだけ多彩で著名な方々が豊岡に結集し、豊岡を語られるのでしょうか？

- この地で長年にわたって蓄積されてきた情報が、コウノトリという一つの種のみならず、多方面にわたる種の保全に貢献することを期待いたします。(秋篠宮殿下)
- コウノトリから学んだ豊岡モデルを、私たちはさらに学び、自然と経済が共生する未来をしっかりと考えていくべきです。(涌井史郎さん)
- 夢のある豊岡のまちづくりを全国に発信していただきたい。全国だけではなく世界中に自信を

- 持って紹介していただきたい。(安倍昭恵さん)
- 自然保護にとって重要な存在であるコウノトリ、その野生復帰にはさまざまな問題が付きまといまいます。このかいぎが実りあるものになることを期待します。(ホルガー・シュルツさん)

いただいた数々の言葉から、コウノトリ野生復帰の取組みはもちろん、その向こうに広がる地域づくりへの大きな期待を伺うことができました。

コウノトリ野生復帰の「未来」と、地域づくりの「未来」を議論！

－野生復帰の今－

豊岡産まれのコウノトリが飛来した韓国、コウノトリをシンボルに自然再生を進める千葉県野田市、コウノトリが舞う里づくりを目指す福井県越前市から、各地域の現状と取組みの報告を受け、野生復帰の未来を考えました。



韓国慶尚南道ラムサール環境財団事業チーム長
イ・チャヌさん



野田市長
根本 崇さん



越前市長
奈良俊幸さん

－総合討論－



コウノトリのみならず地域も生き残るための“農業”と、コウノトリも住める地域を未来へ繋げていくための“公共政策”について、ゲストスピーカーからの話題提供をもとに総合討論を行いました。

コーディネーター

東京都市大学教授・涌井史郎さん

パネリスト

県立コウノトリの郷公園長・山岸 哲さん

コウノトリ湿地ネット代表・佐竹節夫さん

豊岡市長・中貝宗治

ゲストスピーカー

NPO法人民間稲作研究所理事長・稲葉光國さん

市内農業者・成田市雄さん

国土交通省河川環境保全調整官・藤井政人さん

(写真左上から)

◆コウノトリ未来・国際大学(7月20日)

2日目は、この日限定の「コウノトリ未来・国際大学」を開校。国内外から集まった若者たちが、さまざまな分野で活躍する多様な講師陣の講義を受け、“コウノトリ未来宣言”をまとめました。



▲内閣総理大臣夫人
安倍昭恵さん



▲東邦大学准教授
西廣 淳さん



▲地球いきもの応援団
土屋アンナさん



▲国内外各地から参加した若者たちによる総合討論

コウノトリ未来宣言(抜粋)

ふるさとにたくさんの選択肢を残してもらい、今、ここに立っています。今ある選択肢を私たちで無くしてしまうことはできません。たとえ、小さな選択肢であっても、しっかりと引き継ぎ、次の世代へ渡せるようにしたい。そうすれば、今の子どもたちの多くの笑顔に繋がると信じて。その笑顔の中に、私たちの子どももいることを信じて。



▲コウノトリファンクラブ会長の柳生 博さんと「コウノトリ未来宣言」を朗読した岡田有加さん

▼土屋アンナさんの熱唱とともに、2日間にわたる“かいぎ”が閉幕

